歯周病は〇〇病のリスクを上げる

こんにちは。
もうすぐ「秋の夜長」を楽しめる季節となって参ります。

秋分の日を過ぎた頃から夜の時間が長くなり、
涼しく過ごしやすい秋の深まりを感じ始める時期。

気になっていた映画や本を楽しむあまり、
ついつい夜ふかしして**しまった！**
なんてことのないように気をつけていきたいですね。

さて、歯科として
皆さまに気をつけていただきたいことが
もうひとつあります。

それは歯周病。

歯周病は歯ぐきが腫れたり、
たまに出血したりといった程度で、
痛みもないことが多いため、
あまり重要視していない方もいらっしゃいます。

しかし！

歯周病とは、放っておくと骨が溶け
いずれ歯が抜けてしまう恐ろしい病気。

そのうえ、**歯周病が招く危険**は
それだけに留まりません。

今回は歯周病がもたらす、
「とある病気のリスク」について
ご紹介いたします。

歯周病放置リスク①
糖尿病の悪化

糖尿病は「失明」や「足などの壊疽（えそ）」といった、
恐ろしい合併症のリスクがある病気です。

歯周病になると、
歯周病菌が発する毒素により、
血糖をコントロールするインスリンの働きが鈍くなり
ますます糖尿病が悪化することに。

反対に、糖尿病の人は
通常より **2 倍以上も歯周病になる可能性が高い**
というデータもあります。

このように、歯周病と糖尿病は
互いに悪影響を及ぼしあっているという
非常に危険な関係をもっています。

さらに…

歯周病放置リスク②
心臓病を引き起こす

歯周病菌が血流に乗り「冠動脈」に達すると
心臓病を引き起こすリスクが
約 2 ～ 3 倍も高まるという調査結果があります。

冠動脈とは
心臓を取り囲むように張り巡らされた血管のこと。

心臓が動くために必要な栄養素や
酸素を送る重要な働きをしています。

ここに歯周病菌が達してしまうと、
血管が炎症を起こして動脈硬化が促進され、
心筋梗塞や狭心症といった
心臓病のリスクを抱えることになるのです。

◆歯周病リスクを回避しよう！

歯周病は、今回ご紹介した病気の他にも
脳梗塞・誤嚥性肺炎・骨粗しょう症、
さらには**がん・認知症**…といった
全身の様々な病気と関わりがあります。

それにも関わらず、
自身ではなかなか自覚できないのが
歯周病の恐ろしいところ。

そのため、
もし歯ぐきから出血していたり、
歯ぐきが腫れていたりする場合には
たとえ**痛みはなくても**
必ず歯科医院で歯周病治療を受けてください。

また、**歯周病菌はしばらくすると必ず増殖する**ため、
一度治療をしても、いずれ再発する可能性が高いです。

こういった歯周病のリスクを回避するためにも、
ぜひ定期的なメインテナンスを受けてくださいね！

SEE YOU NEXT TIME